

# log-adjacency-changes

…OSPFルータの隣接関係のログが出るようにする

[ログアジェイセンシーチェンジズ]

## <利用方法>

OSPFルータの隣接関係にイベントがあった場合に、そのログが吐き出されるように設定する

## <実行例>

```
Router#conf t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Router (config)#router ospf 1
Router (config-router)#log-adjacency-changes
```

## <ログ例>

```
10:21:11: %OSPF-5-ADJCHG: Process 1, Nbr 192.168.0.2 on Serial1 from FULL to DOWN, Neighbor Down: Dead timer expired
```

## <補足>

OSPFでは常に隣接するルータとLSAのやり取りをし、helloパケットのやり取りで隣接関係を保っている。それらの関係が切れたり、繋がったりした場合にその情報をログに出すように設定するコマンド。デフォルトではOFFになっているが、トラブルシューティングのためにも設定しておくことが多い。ログ情報は通常、show loggingコマンドで確認するがルータにログインしないとログが見えないので、syslogサーバを立ててそこへ吐き出すように設定することもある。(show loggingコマンド、syslogコマンドは別途記載)